

入賞	総合洪水解析システム (IFAS)
技術開発者	(国研)土木研究所 津田 守正
	
受賞にあたって	
<p>このたびは、IFAS（総合洪水解析システム）に対して国土技術開発賞・入賞を頂きましてありがとうございます。大変光栄に存じます。</p> <p>私はIFASの開発・適用には平成26年から携わっております。長きにわたるIFAS開発の歴史のうち、ほんの一端にかかわらせていただいたものであり、本来、技術開発者としてこのような賞をいただく立場ではないと恐縮している次第です。アジア開発銀行やユネスコ主導のプロジェクトを通じて、IFASを基にした洪水予警報システムの現地実装が進みつつあることや、研修受講者数が合計1,000人の大台を超えたことなど、普及面での大きな節目に立ち合わせて頂いたこと等により、今回の受賞の栄誉に預かることになったものと理解しております。これもひとえに先輩方のご尽力の賜と存じます。これまでIFASに携わられた皆様と今回の受賞の喜びを分かちあえれば幸いです。</p>	
受賞後の動き	
<p>土木研究所が参加しているUNESCOパキスタンプロジェクト・フェーズ2では、IFASをベースとした洪水予警報システムの拡張が、パキスタン政府機関や大学を中心に続けられており、我々も必要な技術支援を行っています。IFASの開発は単にプログラムの開発にとどまらず、現地適用や利用者の理解を促すための研修を継続的に実施しているところに大きな特徴があるかと思えます。この受賞を励みに、現地の実態に即したモデル開発、普及支援を進め、さらに多くの人々に利用いただけるようにしたいと思います。</p>	